

掲載日：平成21年11月1日

出会う！ふれあう！地域の魅力キャンペーンで新規事業の発掘を！

2009 農工商連携 マッチングフェア in さいたま

基 調 講 演 (13:15~13:55)

農工商連携事業の狙いと仕組み



【講 師】NPO法人 農工商連携サポートセンター
代表理事 大塚洋一郎 氏

講師は平成19年7月より経済産業省大臣官房審議官(地域経済担当)として企業立地、ソーシャルビジネス、農工商連携などの地域活性化施策を担当し、農工商連携促進法の制定には当初より参画。本年7月、新しい日本の農業のため農工商連携促進をライフワークとして取り組むことを決意、公務員を退職し、NPO法人農工商連携サポートセンターを設立。全国各地で農工商連携に関する講演多数。

農工商連携事業の狙いと仕組み、今後の動向について解説する。また、農工商連携の成功事例に関する分析を踏まえ、連携事業成功に向けた基本的な知識、ポイント、手法について解説する。

発表案件のご紹介 ※マッチングを希望する発表案件を第2希望まで参加申込書に記入してください。

テーマ1

農産物の生産技術・加工技術

1 超微粒粉砕機スーパーマスコロイダーを核とした未利用資源の有効利用

法人名 増草産業株式会社

所在地 埼玉県川口市本町1-12-24

資本金 1,000万円 従業員数 25人

発表者 代表取締役 橋口 幸也

URL <http://www.masuko.com>

事業概要 未利用資源の有効利用とダイヤモンド以外のあらゆる物質を超微粒化する粉砕機の製造



発表する商品・技術・サービスの概要

- 【例1】廃棄物のない食品製造設備(スープ、ジュース、豆腐等)
- 【例2】新鮮な家畜や魚の骨を超微粒に砕いてすり身状の肉を作る
- 【例3】稲わら等のバイオマス原料からバイオエタノールの製造

想定される連携のイメージ・連携相手

農産物や水産物に従事している方(廃棄物の発生元)と商品開発できる企業と製造のメーカーである同社の連携

【元気なモノ作り中小企業300選】

2 均質化技術を活用した食品の開発事例と環境対策・周辺技術

法人名 三井機械工業株式会社

所在地 静岡県三島市長沢155-13三島工場内

資本金 1,500万円 従業員数 19人

発表者 技術部顧問 佐伯 達也

URL <http://www.sanmaru-m.co.jp>

事業概要 牛乳、ヨーグルト等乳飲料やジュース等液体食品の製造機器の製作及び販売。主力製品は高圧ホモジナイザー

発表する商品・技術・サービスの概要

ホモジナイザーが発生する高圧力・高せん断力を利用した飲料など液体食品の加工事例より、例えば果汁・野菜ペーストなどの固形や飲み心地の改善事例の紹介。
また、三井機械工業様が取り組もうとしている、農業関連の環境対策・製品品質確保に対する取り組みについての紹介。

想定される連携のイメージ・連携相手

地場農産物を利用し、健康食品や地場産品を開発しようとする農業や酪農業の生産者や製品製造者、さらに研究開発や商品開発の従事者。

【元気なモノ作り中小企業300選】



テーマ2

女性の感性を活かした農工商連携

3 林産物のゆずを活用し、「ゆずの皮スイーツ(仮称)」及び「ゆず液」として商品化し、森林文化都市宣言をした飯能市の名産品とする

団体名 東吾野女性会 ときめく

所在地 埼玉県飯能市大字長沢1628

発表者 代表 栗原 亜子 従業員数 14人

事業概要 手づくり味噌の生産と販売、その他地域活動への参加

発表する商品・技術・サービスの概要

- 1 製品の説明
「ゆずの皮スイーツ(仮称)」「ゆず液」の内容と創り方の説明
- 1 商品化に向けての要件
・希望する製造からパッケージまでの仕組みと課題
- 1 販売への取り組み
・販売までの宣伝や販路促進に関する課題

想定される連携のイメージ・連携相手

- 1 製造に際して機器の製造メーカー
・合理的な製造(ゆずもぎの機具・皮むき・計量から詰め方等)
- 1 商品化からプロモーションに關する専門家
・お菓子の料理家・味や作り方のアドバイス
- ・マーケティング・パッケージの体裁・価格設定
- 販売促進全般プロモーション

- 1 販路者&ルート開拓者
・販売店: レストラン 菓子専門店 お土産店 ネット販売者
- ・販売ルート開拓: コーディネーター・コンサルタント



4 今だからこそ農業体験をしてみませんか 田舎暮らし体験の商品開発

提供先 ファーム・インさざり

所在地 埼玉県さいたま市緑区上野庄282

発表者 代表 萩原 さとみ

事業概要 さいたま市のほぼ中央に位置する見沼たんぼのそばの自毛の雑木林や雑草を開放し、田舎暮らし体験場を開場

発表する商品・技術・サービスの概要

人として生きるための食べ物づくりと生活の知恵を伝えるため、野菜づくりを基本に味噌づくりや伝統文化、郷土料理、昔遊びなどをとり入れたグリーンツーリズムを実施。
農業と子供の教育をつなぐ合わせた「食育」だけでなく、農業と観光、予防医学としての農業、高齢者や障害者との取り組み等、多面的機能の応用に挑戦中。

想定される連携のイメージ・連携相手

教育や福祉、環境、いやし等、農業の持つ可能性をどんどん発信し、区・県・市等の行政、企業、NPO、学校等の団体と連携し、「農業の応援団」を育てたい。



11月19日(木)13時～ 大宮ソニックシティ4階 国際会議室にて

詳しくは、営業部までお問い合わせください。

(TEL:048-222-4343 FAX:048-223-9790)